

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価計画

達成度(評価)

- A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名	唐津市立浜玉中学校																																						
1 前年度 評価結果の概要	・コロナ禍の中で行事や学習活動に制限が入る一年であったが、生徒や保護者からは概ね学校の教育活動に対して評価をいただいており、評価項目は概ね達成できている。 ・いじめ問題への対応については未然の防止のために指導を重ねている。保護者との連携をさらに深め、早い段階でのいじめの認知、認知に努める。																																						
2 学校教育目標	持続可能な社会の創り手となる生徒の育成 《めざす生徒像》 豊かな心で、未来を切り拓く生徒																																						
3 本年度の重点目標	1 学力の定着と資質・能力の育成（唐津市学力向上指定校） 2 心の教育（人権教育）の充実 3 いじめの早期発見・早期対応 4 キャリア教育の推進 5 地域とともにある学校づくり（いきいき学ぶからつ子事業）																																						
4 重点取組内容・成果指標																																							
(1)共通評価項目																																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">重点取組</th><th rowspan="2">具体的取組</th></tr> <tr> <th>評価項目</th><th>取組内容</th><th>成果指標 (数値目標)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">●学力の向上</td><td>●全職員による共通理解と共通実践</td><td>●「唐津の学び」チェックシートの個人評価において、すべての項目の自己評価平均値を3.5以上</td><td>・教職員間で「唐津の学び」チェックシートを共有する。 ・「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」のバランスのよい育成をめざし、ICT環境を最大限活用しながら、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を行う。 ・SDGsを意識した教育課程を編成し追加に実施する</td></tr> <tr> <td>○教職員の指導力向上</td><td>○授業の内容が理解できているという生徒の割合を80%以上とする。 ○県学習状況調査結果の対県平均比を1.00以上</td><td>・授業の『めあて』を明示し、『振り返り』の場を設定することで、意欲的に学習に取り組む生徒を育成する。 ・新しい学習指導要領のねらいを具現化する教育活動及び学習評価を実施する</td></tr> <tr> <td rowspan="3">●心の教育</td><td>●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動</td><td>○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童生70%以上</td><td>・人権集会・平和集会や道徳に関するアンケートの実施 ・道徳科の授業づくりに関する校内研修等の実施</td></tr> <tr> <td>●いじめの早期発見、早期対応体制の充実</td><td>○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事業対処等)について組織的対応ができていると回答した教員90%以上</td><td>・生徒観察をはじめ、計画的に生活アンケートや教育相談、QUTテストを実施することで生徒の状況を把握し、未然防止・早期発見に努める。 ・いじめが発覚した場合は、早急に対策委員会を立ち上げ、保護者・関係機関と連携しながら解決を図る。</td></tr> <tr> <td>○浜玉中三訓の徹底</td><td>○自らあいさつができる生徒の割合を80%以上にする。</td><td>・生徒会活動で、生徒に自ら啓発を行わせることで、意識の高揚を図る。 ・生徒会を主体に毎朝あいさつ運動に取り組む。</td></tr> <tr> <td rowspan="2">●健康・体づくり</td><td>次の中から1つ以上を選択 ①「運動習慣の改善や定着化」 ②「望ましい生活習慣の形成」 ③「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ④「安全に関する資質・能力の育成」</td><td>④全校生徒の朝食喫食率を90%以上にする。また、給食の残食をなくす。</td><td>・生活アンケートを実施し、朝食喫食率を把握し、給食たより等で保護者へ向けても情報を提供し、意識高揚と改善を図る。 ・生徒会保健部と連携を図り、残食チェックや給食指導の徹底を行う。</td></tr> <tr> <td>○(学校独自重点取組・任意)</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="2">●業務改善・教職員の働き方改革の推進</td><td>●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減</td><td>●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。</td><td>・部活動複数顧問制を効果的に活用する。 ・部活動終了1時間後に退勤する。 ・会議日は「ノー残業DAY(定時退勤)」</td></tr> <tr> <td>○(学校独自重点取組・任意)</td><td>○(学校独自成果指標・任意) 時間外勤務を1月60時間以内、年360時間以内ににする。 年次休暇の取得を10日以上取得した職員の割合を70%以上</td><td></td></tr> </tbody> </table>	重点取組			具体的取組	評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●「唐津の学び」チェックシートの個人評価において、すべての項目の自己評価平均値を3.5以上	・教職員間で「唐津の学び」チェックシートを共有する。 ・「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」のバランスのよい育成をめざし、ICT環境を最大限活用しながら、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を行う。 ・SDGsを意識した教育課程を編成し追加に実施する	○教職員の指導力向上	○授業の内容が理解できているという生徒の割合を80%以上とする。 ○県学習状況調査結果の対県平均比を1.00以上	・授業の『めあて』を明示し、『振り返り』の場を設定することで、意欲的に学習に取り組む生徒を育成する。 ・新しい学習指導要領のねらいを具現化する教育活動及び学習評価を実施する	●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童生70%以上	・人権集会・平和集会や道徳に関するアンケートの実施 ・道徳科の授業づくりに関する校内研修等の実施	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事業対処等)について組織的対応ができていると回答した教員90%以上	・生徒観察をはじめ、計画的に生活アンケートや教育相談、QUTテストを実施することで生徒の状況を把握し、未然防止・早期発見に努める。 ・いじめが発覚した場合は、早急に対策委員会を立ち上げ、保護者・関係機関と連携しながら解決を図る。	○浜玉中三訓の徹底	○自らあいさつができる生徒の割合を80%以上にする。	・生徒会活動で、生徒に自ら啓発を行わせることで、意識の高揚を図る。 ・生徒会を主体に毎朝あいさつ運動に取り組む。	●健康・体づくり	次の中から1つ以上を選択 ①「運動習慣の改善や定着化」 ②「望ましい生活習慣の形成」 ③「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ④「安全に関する資質・能力の育成」	④全校生徒の朝食喫食率を90%以上にする。また、給食の残食をなくす。	・生活アンケートを実施し、朝食喫食率を把握し、給食たより等で保護者へ向けても情報を提供し、意識高揚と改善を図る。 ・生徒会保健部と連携を図り、残食チェックや給食指導の徹底を行う。	○(学校独自重点取組・任意)			●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・部活動複数顧問制を効果的に活用する。 ・部活動終了1時間後に退勤する。 ・会議日は「ノー残業DAY(定時退勤)」	○(学校独自重点取組・任意)	○(学校独自成果指標・任意) 時間外勤務を1月60時間以内、年360時間以内ににする。 年次休暇の取得を10日以上取得した職員の割合を70%以上	
重点取組			具体的取組																																				
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)																																					
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●「唐津の学び」チェックシートの個人評価において、すべての項目の自己評価平均値を3.5以上	・教職員間で「唐津の学び」チェックシートを共有する。 ・「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」のバランスのよい育成をめざし、ICT環境を最大限活用しながら、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を行う。 ・SDGsを意識した教育課程を編成し追加に実施する																																				
	○教職員の指導力向上	○授業の内容が理解できているという生徒の割合を80%以上とする。 ○県学習状況調査結果の対県平均比を1.00以上	・授業の『めあて』を明示し、『振り返り』の場を設定することで、意欲的に学習に取り組む生徒を育成する。 ・新しい学習指導要領のねらいを具現化する教育活動及び学習評価を実施する																																				
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童生70%以上	・人権集会・平和集会や道徳に関するアンケートの実施 ・道徳科の授業づくりに関する校内研修等の実施																																				
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事業対処等)について組織的対応ができていると回答した教員90%以上	・生徒観察をはじめ、計画的に生活アンケートや教育相談、QUTテストを実施することで生徒の状況を把握し、未然防止・早期発見に努める。 ・いじめが発覚した場合は、早急に対策委員会を立ち上げ、保護者・関係機関と連携しながら解決を図る。																																				
	○浜玉中三訓の徹底	○自らあいさつができる生徒の割合を80%以上にする。	・生徒会活動で、生徒に自ら啓発を行わせることで、意識の高揚を図る。 ・生徒会を主体に毎朝あいさつ運動に取り組む。																																				
●健康・体づくり	次の中から1つ以上を選択 ①「運動習慣の改善や定着化」 ②「望ましい生活習慣の形成」 ③「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ④「安全に関する資質・能力の育成」	④全校生徒の朝食喫食率を90%以上にする。また、給食の残食をなくす。	・生活アンケートを実施し、朝食喫食率を把握し、給食たより等で保護者へ向けても情報を提供し、意識高揚と改善を図る。 ・生徒会保健部と連携を図り、残食チェックや給食指導の徹底を行う。																																				
	○(学校独自重点取組・任意)																																						
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・部活動複数顧問制を効果的に活用する。 ・部活動終了1時間後に退勤する。 ・会議日は「ノー残業DAY(定時退勤)」																																				
	○(学校独自重点取組・任意)	○(学校独自成果指標・任意) 時間外勤務を1月60時間以内、年360時間以内ににする。 年次休暇の取得を10日以上取得した職員の割合を70%以上																																					
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目																																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">重点取組</th><th rowspan="2">具体的取組</th></tr> <tr> <th>評価項目</th><th>重点取組内容</th><th>成果指標 (数値目標)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○特別支援教育</td><td>○個々の生徒に応じたきめ細かい対応</td><td>○個々の生徒に応じた適切な支援ができていると回答した教員70%以上</td><td>・教育支援部会や生徒支援協議会を通して、支援について共通理解、共通実践を行い、支援体制を強化する。 ・特別支援教育コーディネーターを中心に、積極的に支援会議を実施する。</td></tr> <tr> <td>○志を高める教育</td><td>◎キャリア教育の推進と情報提供の充実</td><td>◎夢や目標をもち、その実現に向けて努力している生徒の割合を70%以上にする。</td><td>・自己理解を深めさせるとともに、働くことの目的や意義について、教科横断的に取り組む。 ・生徒の望ましい進路実現のため、適切な進路に関する情報を提供する。 ・キャリアパスポートを活用しキャリア教育の充実を図る。</td></tr> <tr> <td>○小中・地域連携</td><td>○小中連携と地域連携の充実</td><td>○小中連携や地域連携を図り、生徒の教育活動の充実が図れたと回答する教員が70%以上にする。</td><td>・小中連携会議を実施して、小中連携を推進する。 ・本校の方針を発信するとともに、全職員が地域との協働の意識を高め、理想的な関係づくりを推進する。</td></tr> </tbody> </table>	重点取組			具体的取組	評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	○特別支援教育	○個々の生徒に応じたきめ細かい対応	○個々の生徒に応じた適切な支援ができていると回答した教員70%以上	・教育支援部会や生徒支援協議会を通して、支援について共通理解、共通実践を行い、支援体制を強化する。 ・特別支援教育コーディネーターを中心に、積極的に支援会議を実施する。	○志を高める教育	◎キャリア教育の推進と情報提供の充実	◎夢や目標をもち、その実現に向けて努力している生徒の割合を70%以上にする。	・自己理解を深めさせるとともに、働くことの目的や意義について、教科横断的に取り組む。 ・生徒の望ましい進路実現のため、適切な進路に関する情報を提供する。 ・キャリアパスポートを活用しキャリア教育の充実を図る。	○小中・地域連携	○小中連携と地域連携の充実	○小中連携や地域連携を図り、生徒の教育活動の充実が図れたと回答する教員が70%以上にする。	・小中連携会議を実施して、小中連携を推進する。 ・本校の方針を発信するとともに、全職員が地域との協働の意識を高め、理想的な関係づくりを推進する。																			
重点取組			具体的取組																																				
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)																																					
○特別支援教育	○個々の生徒に応じたきめ細かい対応	○個々の生徒に応じた適切な支援ができていると回答した教員70%以上	・教育支援部会や生徒支援協議会を通して、支援について共通理解、共通実践を行い、支援体制を強化する。 ・特別支援教育コーディネーターを中心に、積極的に支援会議を実施する。																																				
○志を高める教育	◎キャリア教育の推進と情報提供の充実	◎夢や目標をもち、その実現に向けて努力している生徒の割合を70%以上にする。	・自己理解を深めさせるとともに、働くことの目的や意義について、教科横断的に取り組む。 ・生徒の望ましい進路実現のため、適切な進路に関する情報を提供する。 ・キャリアパスポートを活用しキャリア教育の充実を図る。																																				
○小中・地域連携	○小中連携と地域連携の充実	○小中連携や地域連携を図り、生徒の教育活動の充実が図れたと回答する教員が70%以上にする。	・小中連携会議を実施して、小中連携を推進する。 ・本校の方針を発信するとともに、全職員が地域との協働の意識を高め、理想的な関係づくりを推進する。																																				
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育																																							
5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・																																						